

2026年6月26日

各 位

上場会社名 ダイハツインフィニアース株式会社
代表者 取締役社長 堀田 佳伸
(コード：6023 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 浅田 英樹
(TEL. 06-6454-2331)

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

今期も、より客観的な視点を取り入れるため、外部機関の協力を得て取締役会実効性評価を実施いたしました。外部機関は、以下の項目に関して、取締役10名及び監査役3名に対する匿名アンケートを行い、その結果を集計・分析し、課題の取り纏めを行いました。当社は、外部機関の結果を踏まえて、2026年6月26日開催の取締役会において実効性の分析・評価を実施いたしました。

- I. 取締役会の構成について
- II. 取締役会の運営について
- III. 取締役会の議題について
- IV. 取締役会を支える体制について
- V. 取締役会としての株主との対話
- VI. 取締役・監査役による自己評価

2. 評価の結果（概要）

評価の結果、取締役会全体の実効性については、概ね適切に確保されていると評価されました。当社は、前期までの課題を認識し、当社の取締役会としてあるべき機関設計を検討した結果、監査等委員会設置会社へ移行するに至りました。今回の機関設計変更を受けて、「I.取締役会の構成について」は大きく改善する見込みであります。一方で、当社が

ループの大きな方向性を決定づける取締役会において、各取締役が求められる役割を發揮し、その実効性を担保していくため、認識した課題については、引き続き必要な議論を実施してまいります。

なお、今期の取締役会実効性評価の結果、以下の点について議論の必要性を認識いたしました。

	課題	対応方針
1	年間スケジュールと議題選定	取締役会の年間スケジュールの作成と時期に応じた必要な審議事項を盛り込み、長期的な目線でレベルの高い議論と審議時間を確保してまいります。
2	取締役会の議題と権限委譲	過去議題を洗い出し、議論を行うべき機関を適切に振り分け、適切な権限委譲を検討してまいります。 各機関に振り分けた議題においても、取締役会へ定期的な報告をもとにモニタリングを実施し、監督機能を強化してまいります。
3	指名・報酬諮問委員会活用と運営	指名・報酬諮問委員会からの適切な情報共有を受け、経営陣の後継者計画、役員報酬、選任・解任など、取締役会における議論及び監督機能の向上に役立ててまいります。 また、指名・報酬諮問委員会の委員長を社外取締役とし、より透明性の高い諮問機関としてその実効性を高めてまいります。
4	役員のトレーニング	従来への就任時に実施されるトレーニング実施のほか、各役員に必要な知識（資本政策や株主視点など）や研鑽方針を見直し、求められる役割を果たしてまいります。
5	株主意見の活用	株主からの多くの反対意見に限らず、寄せられたご意見につきましても、その内容を共有・分析することを重要視し、今後も当社グループの方針検討に役立ててまいります。

当社は今後も、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、今回の評価結果及び課題への対応を踏まえて、取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以上